

参考資料 5

第 12 回西大台地区利用適正化計画検討協議会における意見等と対応方針

	意見等	対応方針
認定事務について	①事前予約の受付が立入希望日の 3 ヶ月前からになっているが、半年前等もう少し早くから行えるようにしてほしい。	・利用調整期間が終わってから、モニタリング結果等を踏まえた評価委員会での評価、協議会での検討等を行って、次年度の運用を決めています。このため、事前予約の受付を 3 カ月よりも以前に設定することは困難です。
	②大台ヶ原に来た人が西大台に立入したい場合、当日の認定枠に空きがある場合には大台ヶ原の現地で立入認定が出来るようにしてほしい。	・当日の立入認定を可能にするためには、指定認定機関の実施体制の整備が必要となりますので、現状では困難です。 ・当面は、効果的な普及啓発により対応することとします。
	③申請から認定までの期間を短縮してほしい。	・平成 22 年度より、窓口への申請書の提出期限を、これまでの 10 日前から 5 日前に短縮しました。また、窓口への直接申請の場合は直前（前日）であっても、認定証の受け渡し等が確実である場合は個々の状況に応じて対応しています。 ・②の対応方針とも関連しますが、現状の指定認定機関の実施体制、大台ヶ原地域のインターネット通信環境ではこれ以上の短縮は困難です。
	④立入認定日を変更できるようにしてほしい。	・平成 22 年度より、ドライブウェイの通行止めの場合、同一年度内（3 ヶ月以内）において 1 回に限り立入日の変更を可能としました（平成 22 年度は 6 名が変更）。
	⑤利用集中期が設定されていない 6 月の利用者が増加しており、申請を断わった場合もあつたため、利用集中期の変更を検討してほしい。	・平成 23 年度については、これまでの利用集中期に加え、6 月 1 日～19 日を利用集中期に設定したいと考えています。
	⑥インターネットの導入によって利便性がどのように向上するか示してほしい。	・インターネット上で立入希望日の空き状況の確認と、事前予約（仮予約）が出来るようになります。これにより、事前予約の受付が 24 時間可能になります。また、空き状況を見て立入日を決めることが出来るようになるなど、利便性が大きく向上すると考えています。 ・このシステムは平成 23 年度からの運用開始予定です。

	意見等	対応方針
上限人数について	⑦上限人数を見直し、100人、50人、30人の3段階を、100人と50人の2段階することなどを検討してほしい。	・運用開始後、3年が経過し、利用による影響が軽減したと考えられる変化が現われ始めています。しかし、上限人数を2段階にする必要性やその影響等については十分な分析・検討が行われていないため、現時点での見直しは考えていません。
	⑧1グループの上限人数を増やしてほしい。	・西大台地区利用適正化計画にあるように、一時的に大人方が利用することによる自然環境への影響や、静寂な雰囲気の中で西大台の自然を味わうことができ、無理なくガイドの説明を聞くことが出来る人数等を考慮して設定しているため、現時点での見直しは考えていません。
事前レクチャーについて	⑨小処方面からの立入りをしやすくなるよう、大台ヶ原の山麓部でも事前レクチャーを実施してほしい。	・現在、指定認定機関である上北山村商工会の協力を得ながら実現の方向で検討を進めています。 ・現在、事前レクチャーは大台ヶ原ビジターセンターで行うこととされており、変更する場合は法手続きが必要になります。また、事前レクチャーの質を担保するため、リアルタイムの情報共有やレクチャー実施者の育成方法等についても検討しています。
	⑩大台ヶ原ビジターセンター以外でも事前レクチャーを受けられるよう、ビデオによる事前レクチャーも実施してほしい。	・事前レクチャーは、人の対面によって実施することが基本であると考えています。また、リアルタイムの情報を提供することも重要であるため、ビデオによる実施は、現時点では想定していません。
施設について	⑪経ヶ峰へのルートなど、他のルートの利用についても検討してほしい。	・西大台利用調整地区の歩道の在り方については、平成23年度にワーキング等を開催して検討したいと考えています。
	⑫西大台で渓流を渡るところを渡りやすいよう整備してほしい。	
その他	⑬ガイド育成のためのテキストには歴史や文化に関することも記載してほしい。	・同テキスト案には、文献資料等を基に、大台ヶ原の歴史や文化等に関する記載しています。また、テキストの名称は「西大台ガイドのためのテキスト（仮称）」としました。 ・当該テキストについては、評価委員会の意見もいただきながらとりまとめる予定です。
	⑭利用調整による抑止効果などについて、データに基づいて分析してほしい。	・平成23年度にアンケート調査等により、分析したいと考えています。